

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 光輪福祉会 児童養護施設 鷹巣学園
------	-----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成29年12月11日・12日

③事業者情報

名 称：児童養護施設 鷹巣学園	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 帆足隆哉	定員（利用人数）34名
所在地：〒879-4403 玖珠郡玖珠町大字帆足151番地	
TEL：0973-72-2324	

④総評

◇評価の高い点

- ・【施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。】
施設長は、町の要対協や福祉計画等の会議や策定に参画。特に、玖珠町に隣接する日田市のニーズについては支援を通じてニーズ把握し分析している。
- ・【施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。】
施設の運営管理については、課題となっていた施設整備や組織体制改善に意欲的な取り組みを実施している。来期からは養育・支援の基本となる組織体制強化について自らの役割と責任、使命を持って取り組むことを職員に表明している。
- ・【災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。】
災害時の対応体制が決められ、毎月の防災訓練や年1回地元消防団も参加しての夜間訓練を実施している。
- ・【社会的擁護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実施している。】
「子どもの最善の利益」をめざした療育・支援の視点をもち施設長からの訓示、職員会議等で認識の共有が図られている。

◇改善を求められる点

・【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

今後、具体的な取組を進めていくためには、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定したりするなど、組織的な取組を期待する。

・【職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。】

連続休暇取得等含めての働きやすい職場づくりについては、児童養護施設の全体的な課題であることから、施設協議会での具体的な改善策づくりを期待する。

・【養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。】

標準化とは、子どもの状況等を踏まえた標準的な実施方法等を定め、職員の違い等による養育・支援の水準や内容の差異を極力なくし一定の水準、内容を常に実現することを目指すものです。今後、業務手順等も含め組織的に標準的な実施方法を文書化する取組を期待する。

・【社会的擁護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実施している。】

日々の支援内容の振り返りが定期的になされ、組織的なスーパービジョン体制が整えられることが望ましい。

・【スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。】

職員の支援技術の向上や組織力の向上のため、スーパービジョンの体制確立を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回2度目の第三者評価の受審であるが、日常の養育支援に流されて満足する結果を得られなかった。保護者への取り組み、養育支援の質の向上、より家庭的な養育支援の取り組み、感染症対策等、様々な評価結果から、明確になった問題について、職員と一体となった改善や改善計画を策定していきたい。

又来年度からの取り組みとして、目標管理の手法を用いて職員が自発性・創造性を活かすことを促しつつ、組織目標等に基づき、自らの業務目標を設定し、その設定した目標の難易度、達成度により一定期間内の業績を評価する人事考課制度を導入し職員の資質の向上に努め、更には施設の改善に取り組みたい。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）